

新2年生『国語・算数探検』講座



【 2024年度前期 特別講座 】

小学校低学年のうちに、どんな学びをしておけばいいの？

将来、中学受験をするかどうかはまだ決めていないけれど、いざ行きたい学校が見つかったときに、あわてないですむにはどうしたらいい？

そんな質問に対する答えとして、1つ言えるとしたら、それは、「嫌いにならない」こと。教科の学習に対して、嫌い、苦手、という先入観を持ってしまうと、そのあとの「受験勉強」は苦しいだけのものになってしまいます。低学年のうちに「学ぶ」って面白い、「学ぶ」ことが好き、と思える場面を1つでも多く体験することが重要だと日能研は考えます。

この講座では、小学校の授業とは一味も二味もちがう、新しい国語と算数の世界にとびこんで、文字やことばの奥深さ、読んでイメージを広げることの楽しさ、数の世界の不思議さ、図形の面白さに“出あう”ことができます。まさに探検するように国語と算数を学ぶ講座です。そして、自分自身で“考える”力や、自分自身の考えを“表現する”力を身につけていきます。授業では、新しい知識や解法を先取りすることよりも、「なぜその答えになるのだろうか？」を重視します。それと同時に、漢字や語彙、計算といった土台となるスキルを身につけることも大切にしていきます。



■■ 実施要項 ■■

実施月	5月度 開講	6月度 開講	7月度 開講
授業日	国語 5/18(土) 算数 6/ 1(土)	国語 6/15(土) 算数 6/29(土)	国語 7/ 6(土) 算数 7/13(土)
授業時間	10:30 ~ 11:40	10:30 ~ 11:40	10:30 ~ 11:40
費用	3,696円(税込)	3,696円(税込)	3,696円(税込)

■■ 申込要項 ■■

- ◎ 下の申込書をご記入のうえ、受講を希望される教室にてお申し込みください。
- ◎ この講座は月毎(全2回)に開講いたします。受講のお申し込みは、月単位から承ります。
- ◎ お申し込み後、払込用紙をお渡しいたします。払込用紙に記載の納入期限迄に、コンビニエンスストア・ゆうちょ銀行(郵便局)または電子決済から費用をお振り込みください。
- ◎ 満席になり次第、受付を締め切らせていただきます。
- ※ 日割・回数割・科目割によるお申し込みはできません。
- ※ 月毎の講座開始日前日迄に解約のお申し出があった場合は、事務手数料(550円)を差し引いた金額を返還いたします。月毎の講座開始日以降(講習への出欠席に関わらず)の解約・費用の返還(日割・回数割・科目割による返還を含む)はできません。

《 小学校の授業時間や長期休暇期間・災害・社会情勢等により、授業およびテストの日時・形態を変更することがあります。》

受講に関するご相談は、日能研の教室までお問い合わせください。

日能研大船校 TEL.045(892)6311

キリトリセン

2024年度前期【新2年生 国語・算数探検 講座】申込書

申込日 : 2024年 月 日

日能研の個人情報保護方針に同意し、申し込みます。

日能研番号 F F A 2	フリガナ 生徒氏名	男 女	生年月日 20 年 月 日	
住所 〒 -	電話番号	保護者名	小学校名 小	
【申込講座】 受講を希望される枠に ○印をおつけください	① 5月~7月 11,088円	② 5月度 3,696円	③ 6月度 3,696円	④ 7月度 3,696円

『国語・算数探検』講座のご案内

低学年のうちから大切にしたい“教科の学び”をかたちにした特別選択講座です！

国語

☐ 小学二年生のアキラさんと、妹のエミさんは、お父さんと話をしています。

アキラ 「おとな」といつたら「子ども」のように、ことばの中には、組みになるものがあるけれど、どんなことばにも、組みになるものって、あるのかなあ。たとえば、「白」と組みになる色って、何だろう？

「白」と組みになる色って何色だと思っ？

アキラ

お父さん
黒はどうか？
囲碁のばあいは、白と黒にわかれて遊ぶよね。

エミ
わたしは、赤だと思っ！
赤組と白組にわかれて歌うテレビ番組があるから。

アキラ 「そうか。「白」と組みになる色は、一つだけじゃなさそうだな。ほかにどんな色が考えられそうかなあ。」

課題
アキラさんは、「白」と組みになる色といたら、ほかに何色があるかなと考えています。あなたも「赤」や「黒」とはちがう色で、「白」と組みになる色を考えてみましょう。そして、その色だと考えたりゆりも書きましょう。

りゆう	色

答えは1つじゃない？

自分で自由に考えを広げ、理由とともに表現することにチャレンジします。

会話文やイラストを使い、楽しく学べるようにいざないます。



算数

2人は、2年1組の30人のうち、校庭であそんでいる人数を知らるほうほうを考えた。

えりなさんは、まどから2年1組の人をさがして、数えはじめました。



わたしは、校庭であそんでいる人を見つけて、数えてみるよ。
1、2、3、4、…。

あつしさんは、まず、教室にのこっている人の人数を数えはじめました。



ぼくは、校庭であそんでいる人数を、ひき算をつかって計算してみるよ。今、教室には、ぼくたちを入れて、5人がのこっているから、校庭で、あそんでいる人は、 $30 - 5 = 25$ だから、25人だね。

2人が考えたほうほうには、よいところもあれば、よくないところもあります。

2人が考えたほうほうの、どのようなところがよくて、どのようなところがよくないでしょうか。

つぎのひょうにまとめてみましょう。

どっちが正解とは決められない？

自分自身で、よいところ、よくないところの両面から考えてみるという体験をします。